廃棄物の焼却エネルギーを有効活用した次世代施設園芸

富山県富山市(㈱富山環境整備)

【経緯】

- 富山市内の山間部では、 人口減少や、地域雇用の 場の減少が課題。
- 廃棄物の焼却に伴い生じる 熱エネルギーの有効活用を 検討。

【取組】

- 廃棄物由来の発電に加え て、隣接地での廃熱を利用 した大規模施設園芸。
- ICT等を活用した高度 環境制御システムによる高 付加価値な農業の実証。

【効果】

- 施設園芸の導入に伴う雇 用の創出。
- 万が一停電が発生しても、 廃棄物焼却設備の発電に より操業可能。

事業スキーム

地域の廃棄物



(発電併用焼却施設分) 144トン/日



廃棄物焼却発電施設

廃熱を蓄積

焼却に伴う 発電

トランスヒートコンテナ※ で熱運搬

約1,500kW

100%社内で利用



富山環境整備

ICTによる高度環境制御システムを

導入した園芸施設







フルーツトマト

143万本/年※2

505トン/年※2 ※2 数量は計画値

※トランスヒートコンテナには、廃棄物処理施設 から発生する熱が蓄積され、コンテナごと園芸施 設に配送。今までは捨てられていた廃熱が、トマ されている。



高齢者や外国人を含む 100人以上の雇用

ト栽培における冷暖房用の熱源として有効活用

ポイント① 地域の廃棄物を焼却発電施設で処理し、生み出された電気と熱を地域の農業に活用

ポイント② ICTによる環境制御により、糖度や栄養価が高いトマト等、高品質で競争力のある農産物を安定して生産

ポイント③ 地域の廃棄物が高品質な農産物として各家庭へ還流する循環型農業を実現

<今後の展開>

- 最終処分処理場の跡地を活用した農業の一層の拡大
- 生産に加え、加工・処理など6次産業化の取組による、更なる収益向上、地域の雇用の創出



口: 41万6千人(令和元年9月末現在)

基幹産業:化学産業、電子部品製造業

特産品:米(コシヒカリ)、ますずし、呉羽梨

【発電所の概要】

所 在地:富山県富山市婦中町吉谷3-3

発電出力:1,500kW(発電量:約507万kWh/年)



お問合せ先:株式会社 富山環境整備アグリ事業部 TEL 076-469-6721